

【件名】

中野区環境マネジメントシステム行動指針の改定等について

【要旨】

令和5年度EMSマネジメントレビューにおける区長からの指示事項を踏まえ、中野区環境マネジメントシステム行動指針を改定するとともに、『『ゼロカーボンシティなかの』職員10のデコ活』を作成したため、報告する。

1 目的

脱炭素社会の実現に向けた区としての取組を推進するうえで、EMSの取組範囲を施設面におけるエネルギー管理を主体として、区全体の環境経営推進の観点から全体的な体制及び手続等の仕組みを構築する。

また、新庁舎への移転を契機とした「働き方改革」を踏まえ、職員一人ひとりへの環境配慮の意識浸透を図る運用に見直す。

2 内容

(1) 中野区環境マネジメントシステム行動指針の改定【別紙1】

① 基本理念

「中野区ゼロカーボンシティ宣言」の達成に向け、区が一事業者としてとるべき姿勢を具体的に示す内容とした。

② 行動指針

エコオフィス活動だけでなく、環境経営の観点からの体制・仕組みづくり、及びエネルギー管理に、より一層焦点をあてたものとした。

(2) 『『ゼロカーボンシティなかの』職員10のデコ活』の作成【別紙2】

行動指針に基づき職員がとるべき行動を具体的に示した10項目を『『ゼロカーボンシティなかの』職員10のデコ活』として作成した。

※「デコ活」とは

環境省が決定した「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称。英語で脱炭素「デカーボナイゼーション」と「エコ」を組み合わせた造語で、二酸化炭素(CO2)を減らす環境に良い活動という意味が込められている。

3 今後の予定

4月中、全庁に向けて周知。

【参考】EMS マネジメントレビューにおける区長からの指示事項

- (1) 区のすべての事業活動において、ゼロカーボンシティの実現に向けて、脱炭素や環境配慮視点をもって業務に取り組むこと。
- (2) 環境配慮型の新庁舎への移転に伴い、職員一人ひとりが環境負荷の低減に向け、区全体の目標達成を意識し、自分事として取り組むこと。各職場は、職員一人ひとりの行動を促進する仕組みを構築し、運用すること。
- (3) 業務の効率化を図り、あらゆる場面において、省エネルギー・節電対策に努めること。(残業時間の削減、使用していない部屋・昼休み時間中の消灯、離席時のパソコンの蓋閉め等)
- (4) 区の全ての業務においてペーパーレスを原則とするとともに、区が関わる会議及びイベント・事業等においても、デジタル化を図るなど紙使用の削減を図ること。
- (5) ごみ分別の徹底により資源化を進め、職員はマイバックやマイボトルなどを活用するとともに、区の事業活動全般、区が関わるイベントや会議などの事業活動においても、プラスチック容器は原則使用しないこと。

中野区環境マネジメントシステム行動指針

<基本理念>

中野のまちの生活や事業活動は、今日まで大きく発展すると同時に、地球環境に大きな負荷を与え続けてきました。都市部に位置し、人口密度が高く、業務が集積している地域は、多くのエネルギーを消費し、区民生活や業務を維持するため、多くの二酸化炭素を排出しています。

中野区は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「中野区ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。これからの中野を持続可能な活力あるまちとして次の世代に受け継ぐためには、中野区も一事業者として脱炭素社会の実現に向けた課題に真摯に向きあい、全庁を挙げて、事業活動の全ての面において、環境負荷の低減や環境の質の向上に資する取組みを推進することが不可欠です。

このような認識のもと、中野区は環境に配慮した行動を着実に実践していきます。

<行動指針>

- 1 環境に配慮した行政運営を進めます。
- 2 省エネを徹底し、エネルギー消費量を削減します。
- 3 ペーパーレス化を徹底し、紙使用量を削減します。
- 4 ごみの発生を抑制し、リサイクルを推進します。
- 5 環境に配慮した物品を調達します。

2024年3月19日

中野区長 酒井 直人

<「ゼロカーボンシティなかの」職員10のデコ活>

○ 環境に配慮した行政運営を進めます。

- 1 区の事業活動の全ての面において、環境に配慮した計画的・効率的な行政運営を行います。
- 2 施設整備、電力調達、庁有車の調達などの環境配慮方針に基づき、全ての部署が主体的に環境負荷の低減に努めます。

○ 省エネを徹底し、エネルギー消費量を削減します。

- 3 全ての職員は、残業時間の削減に努めます。また、業務のあらゆる場面において、節電、節ガスなどの省エネ行動を徹底します。
- 4 庁有車の利用は控え、徒歩、自転車、公共交通機関等による移動を優先します。
- 5 クールビズ・ウォームビズの意識を醸成し、身だしなみガイドラインに沿って気候に合わせた服装で業務を行います。

○ ペーパーレス化を徹底し、紙使用量を削減します。

- 6 DX化の推進により不要な紙の印刷を抑制し、クリアデスクを徹底します。
- 7 職員同士の会議のみならず、区民や事業者との会議などを実施する際にも、ICT機器を活用し、ペーパーレスを推進します。

○ ごみの発生を抑制し、リサイクルを推進します。

- 8 廃棄プラスチック削減のために、職員はマイバックやマイボトルを活用します。イベントや会議などでもプラスチック容器の抑制に努めます。
- 9 外部で購入したものの持ち帰りを徹底し、ごみの分別により資源化を心掛けます。

○ 環境に配慮した物品を調達します。

- 10 物品等の調達にあたっては、中野区グリーン購入ガイドラインに基づく調達を行います。

デコ活とは？

「デコ活」は環境省が決定した「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称です。英語で脱炭素「デカーボナイゼーション」と「エコ」を組み合わせた造語で、二酸化炭素（CO₂）を減らす環境に良い活動という意味が込められています。